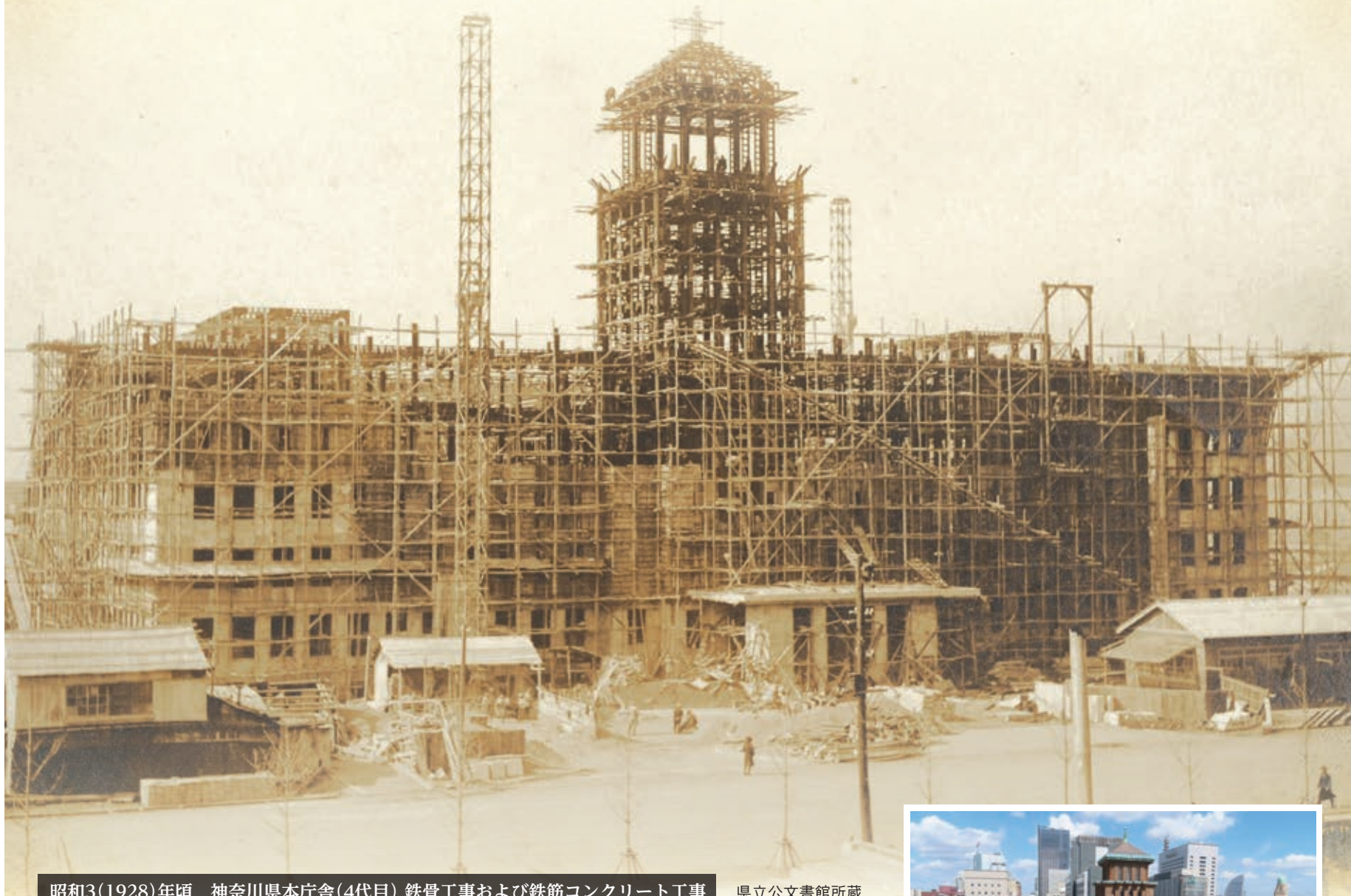


# かながわの昭和100年 記憶の旅へ

令和8年に、昭和元年から起算して満100年を迎えます。昭和期の神奈川県は、関東大震災の復興から始まり、多くの方が犠牲となった戦災を経て、戦後には、飛躍的な経済発展を背景に人口が増加するなど、激動の時代を歩んできました。今日の魅力あふれる神奈川は、昭和の時代をたくましく生きた人々の努力や創意工夫が礎となって築かれています。「昭和100年」を迎えるこの機会に、かながわの昔を振り返りましょう。



昭和3(1928)年頃 神奈川県本庁舎(4代目) 鉄骨工事および鉄筋コンクリート工事 県立公文書館所蔵

横浜三塔の一つ「キングの塔」として親しまれている神奈川県本庁舎は、関東大震災後の昭和3年10月に竣工した4代目の庁舎で、県を代表する近代建築の一つです。タイル張りの壁面と独自の幾何学模様の装飾が施された外観はアール・デコ様式を基調としたもので、「キングの塔」は和風の塔や屋根を持つ「日本趣味」建築の先駆的事例ともいわれています。

本庁舎は、昭和初期から現在に至るまで本県の歩みを見守ってきました。



現在(令和元(2019)年国指定重要文化財)

【上記記事に関する問合せ】 県本庁舎については県庁舎管理課 ☎045(210)2610 FAX045(210)8812

昭和は多くの犠牲を払った先の大戦を経験した一方で、奇跡的な戦後復興により世界有数の経済大国へと発展を遂げた、激動の時代でした。

戦後の本県では、京浜工業地帯などに集積した企業群が日本経済の発展をリードする一方、深刻化した公害問題を住民、事業者、行政が協働して乗り越えるなど、常に課題を克服するプロセスを通じて、県民の皆さんの生活の質の向上を図ってきました。

また、県西部・県央部の地域住民の皆さんの絶大なるご協力により、早々と、相模、城山、三保、宮ヶ瀬の各ダムを整備したことにより、横浜、川崎などの大都市の発展を支えることができました。

今も、“水のさと かながわ”と呼ばれるように、年間を通じて、県全域において、水不足に悩まされることはほとんどありません。私たちは先人たちの先見性、連携と協調を旨としたご努力により、今の魅力あふれる神奈川があることを忘れてはなりません。

「昭和100年」のこの機会に、昭和を振り返り、先人たちから未来を切り拓く力の大切さを学びながら、一人ひとりのいのちが輝く未来をつくってまいりましょう。

神奈川県知事 黒岩祐治



# 水不足克服への挑戦・安定供給の実現

県には、主に県が管理する相模ダム・城山ダム・三保ダムと、国が管理する宮ヶ瀬ダムがあり、これら四つのダムは「かながわの水がめ」として大きな役割を果たし、今も県民の生活と産業の発展を支えています。

神奈川の水源開発はふるさとを離れることになった地域の人々の理解と協力のもと、高度経済成長などによる人口の急増や産業の集積による水需要の増大を背景として、大きな水不足(渇水)を経験しながら行われてきました。

こうした「かながわの水がめ」の歴史を当時の写真と共に紹介します。



### 高度経済成長を支えた「城山ダム」

ダム建設前の様子

現在

昭和30年代後半の高度経済成長期には、県内の水需要が著しく増加しました。こうした状況に対処するため、県・横浜市・川崎市および横須賀市が共同して、相模川総合開発共同事業を計画し、城山ダムが昭和40年に完成しました。

### 渇水時の相模湖の様子

昭和40年に城山ダムが完成したものの、昭和42年には少雨による大きな渇水に見舞われました。相模湖・津久井湖の貯水量は満水時の22%に激減し、県営水道や横浜・川崎・横須賀市営水道は20%の給水制限を行いました。その後も降雨に恵まれなかったことで、断続的に断水が発生して給水車が出動したり、プールの使用やガソリンスタンドでの洗車ができないなど、県民生活・産業活動に大きな影響が出ました。

### 渇水時の丹沢湖の様子

平成8年に県は29年ぶりの渇水に見舞われました。記録的な少雨により、相模湖・津久井湖・丹沢湖の貯水量が大幅に減少したことで、河川からの取水を10%制限し、一部地域で断水が発生するなどの影響が出ました。一時、制限は解除されたものの、空梅雨のため雨が降らず、相模湖・津久井湖・丹沢湖の貯水量が満水時の40%を切ったため、再び10%の取水制限を実施しました。

### 渇水に強い神奈川の三つの理由

- POINT 1 県内のダムで水道水を自給自足**  
神奈川県は水道水の約9割を県内を流れる相模川と酒匂川二つの水系から取水し、残り1割の水源も県内にあります。
- POINT 2 国と県が手を取り合って、「総合運用」**  
国・県のダムを二つのトンネルでつなぎ、効率よく水をやりとりしています。
- POINT 3 相模川、酒匂川2水系をつなぐ導水ネットワーク**  
相模川および酒匂川の下流にある、それぞれの取水堰から浄水場までの間の導水管を途中でつなぐことで2水系間の水を相互に融通できます。

県のダムについて詳しくはこちら

県のダム事業、渇水に強い理由については県利水課 ☎045(210)7235 ㊟045(210)8904

【上記記事に関する問合せ】 宮ヶ瀬ダムについては県土地水資源対策課 ☎045(210)3123 ㊟045(210)8820

昭和42年・平成8年の渇水については県土地水資源対策課 ☎045(285)0049 ㊟045(210)8820

※グラフの人口は、「令和2年国勢調査 神奈川県人口等基本集計結果」、「神奈川県人口統計調査結果報告 令和6年1月～12月の動向」、「神奈川県の人口と世帯 令和7年9月1日現在」を基に県が作成

### レトロ写真館

神奈川の歴史を写真で振り返ります。

#### 昭和36(1961)年撮影

#### 小田原城とゾウ

シンボルとして多くの人に親しまれる

小田原城址公園にゾウがいた時代がありました。インドゾウのウメ子は、昭和25(1950)年の「小田原こども文化博覧会」の開催に合わせ、推定3歳の時にやってきました。平成21(2009)年、当時、国内最高齢の推定62歳で息を引き取るまで、小田原動物園のシンボルとして、多くの人に親しまれました。ウメ子のいた同動物園は令和5(2023)年に閉園しました。

県立公文書館所蔵

#### 昭和45(1970)年撮影

#### 神奈川県でも「月の石」公開

#### 約6,000人もの人々が来館

神奈川県立博物館(当時)で昭和45年12月10日に一日限定で展示されたアポロ12号(歴史上2度目の有人月面着陸に成功)が持ち帰った「月の石」です。高さ約4cmの小さな石でしたが、一日で約6,000人もの人々が来館し、見学のために博物館の周囲を一周する長い行列ができました。

県立公文書館所蔵

展示された「月の石」  
県立歴史博物館提供

# 戦後80年 平和への祈り 未来へつなぐ

終戦から今年で80年を迎えました。昭和6(1931)年の満州事変後、首都に隣接する神奈川県は軍事的な要衝として、陸海軍の基地や軍需工場が多く設置されました。昭和20(1945)年に米軍の爆撃が本格化し、市街地が廃墟と化し、多くの人が犠牲になりました。ここでは、県内の戦災当時の一部の様子を紹介するとともに、戦争の記憶を風化させないため、平和への思いを次世代へ語り継ぐことを目的とした県の取り組みを紹介します。

## 平塚市の被災

平塚市内の被害状況 ※米国立公文書館蔵 平塚市博物館提供

平塚市は、昭和20年7月16日深夜から17日未明にかけて、B29爆撃機133機による大空襲を受けました。投弾範囲は現在の平塚市域にとどまらず、現在の茅ヶ崎市・大磯町・二宮町・小田原市にまで及びました。

出典：総務省 国史館(平塚市における戦災の状況(神奈川県))を加工して県が作成

## 神奈川県内の戦争の爪痕

川崎市は、昭和20年4月15日にB29爆撃機200機余りによる大規模な爆撃を受け、市中心部と南武線沿いの工場が集中している地域は、壊滅的な被害を受けました。写真奥にある時計塔は、戦時中、迷彩色に塗られ、防空監視哨の役割を担っていました。

出典：総務省 国史館(川崎市における戦災の状況(神奈川県))を加工して県が作成

## 川崎市の被災



川崎市役所付近の焼け跡(現在の平和通り) ※川崎市平和館所蔵

## 次世代へ語り継ぐために――

県の取り組みについて詳しくはこちら



AI 語り部体験の様子

### AI 語り部 ～戦争体験を伝えるリアル映像～

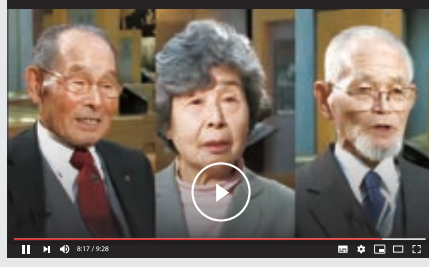
語り部の記憶や思いを未来へ継承するため、AIを活用した対話型語り部システムを今年から導入しました。AI語り部では、長崎での原爆投下時の惨状や被爆体験の講話が聴けるとともに、戦時中の様子等を質問することができます。かながわ平和祈念館遺品展示ホールに常設しており、予約不要で体験できますので、ぜひお越しください。

場 所 かながわ平和祈念館(県戦没者慰霊堂附属会館)  
開館時間 9時～17時(展示ホールは16時30分まで)  
休 館 日 年末年始  
所 在 地 横浜市長南区大久保1-8-10  
交 通 京急・市営地下鉄 上大岡駅から徒歩8分

詳しくはこちら

### 戦争体験等次世代継承ビデオ

動画再生はこちら



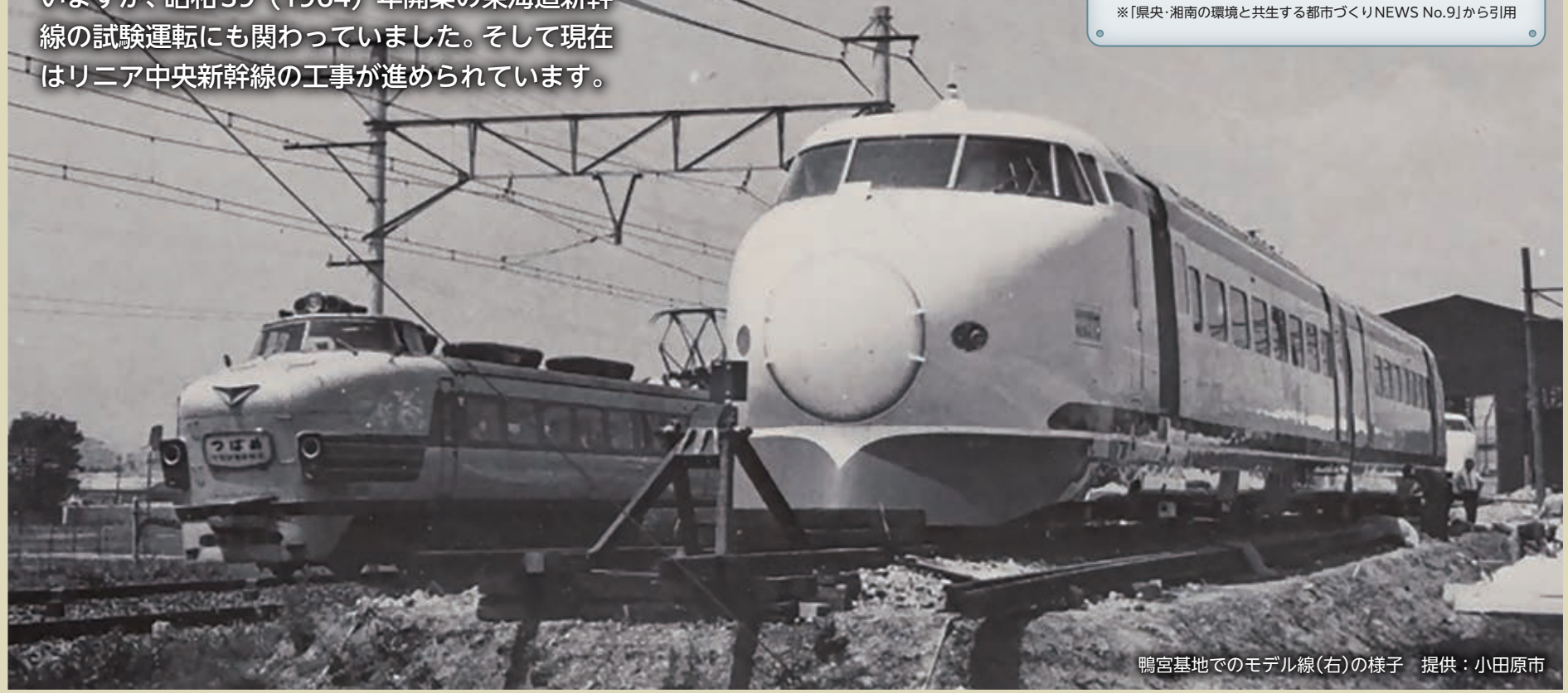
戦争を体験された方々が「語り部」となり、証言を語り伝えるビデオを公開していますので、ぜひご覧ください。

【上記記事に関する問合せ】 戦争体験を語り継ぐ次世代継承事業については県生活支援課 ☎045(210)4903 ☎045(210)8859

## 神奈川発 新幹線ストーリー

# リニア時代の幕開けへ

神奈川県は実は新幹線と関わりが深い県です。東海道新幹線の駅があることは周知のことと思いますが、昭和39(1964)年開業の東海道新幹線の試験運転にも関わっていました。そして現在はリニア中央新幹線の工事が進められています。



鶴宮基地でのモデル線(右)の様子 提供：小田原市

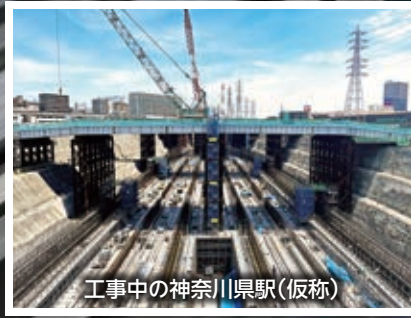
日本で最初に新幹線の線路ができたのは…神奈川県

昭和37年6月、小田原市鶴宮から大磯の間(のち綾瀬間)に日本初の新幹線モデル線が開通しました。このモデル線では、新幹線の試験車を走らせていましたが、昭和38年3月には電車による当時の世界最高時速256kmが記録されました。その後、昭和39年10月の新幹線開業に向けて、このモデル線では何回も走行試験が行われました。

※[県央・湘南の環境と共生する都市づくりNEWS No.9]から引用

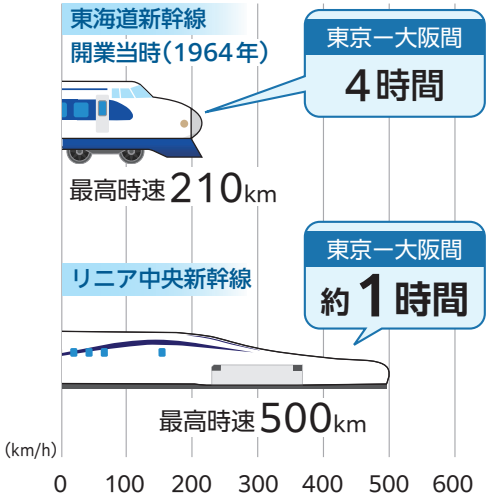
## 県内で進むリニア中央新幹線事業

リニア中央新幹線は東京都から大阪市までの約438kmを日本独自の技術である超電導リニアによって結ぶ新たな新幹線です。現在、リニア中央新幹線の建設工事が各地で行われており、神奈川県でも相模原市緑区橋本にて神奈川県駅(仮称)の工事が本格化しています。



リニア中央新幹線 提供：JR 東海

### ここがすごい！リニア中央新幹線



【上記記事に関する問合せ】 新幹線モデル線については県環境共生都市課 ☎045(210)6033 ☎045(210)8879  
リニア中央新幹線事業については県交通政策課 ☎045(210)6185 ☎045(210)8879

### 昭和41(1966)年撮影

横浜市鶴見区の工業地帯

### 高度経済成長期を支えた京浜工業地帯

京浜工業地帯は、昭和30(1955)年代に成熟期を迎え、日本の中心的な工業地帯として発展していくとともに、戦後日本の高度経済成長期を支えました。



### 昭和48(1973)年撮影

横須賀中央駅～市障害者福祉センター

### 県内初の視覚障がい者用点字ブロック完成

京急横須賀中央駅から市障害者福祉センターまでの県道に、県内で初めての本格的な視覚障がい者用点字ブロック歩道が完成しました。

出典：県政写真ニュース第548号を加工して県が作成



県立公文書館所蔵

### みなとみらい21地区の変遷

### 時代は昭和から平成、令和へ

みなとみらい21地区は、平成元(1989)年に開催された横浜博覧会「YOKOHAMA EXOTIC SHOWCASE'89」を契機に現在のような高層ビルが並ぶ街並みへ大きく変わりました。同博覧会は、「宇宙と子供たち」をテーマに、平成元年3月25日から10月1日までの191日間開催され、1,333万人の総入場者数を得て閉幕しました。

出典：横浜市史資料室「市史通信第35号」を加工して県が作成 写真：横浜市提供



### 昭和58(1983)年撮影

### 令和7(2025)年撮影



横浜市消防局航空消防隊撮影

# かながわ謎解きクイズ デジタルラリー

昔懐かしい「近現代レトロ」をテーマに、県内の魅力的な歴史、文化、自然を楽しみながら巡るデジタルラリー※を開催しています。県内各地のスポットでは謎解きが写真撮影のクエスト(課題)が出題されます。クエストをクリアすると、スタンプやポイントを獲得することができ、ポイント取得数に応じて賞品に応募できます。この機会に、県内各地に広がるさまざまな謎を解き明かし、神奈川の近現代の魅力を堪能する旅に出かけませんか？

※デジタルラリーとは、スマートフォンで参加するスタンプラリーのことで

## 第2期 イシシ × 海辺のグルメな旅

～横浜・三浦半島～

開催期間 令和8年1月4日(日)まで

＼フォトクエストの一例／

**葉山しおさい公園(葉山町)**

葉山御用邸付属邸跡地に開設され、皇室にゆかりがあり、三ヶ岡山を借景とした日本庭園を楽しめます。

開園時間: 8時30分～17時(入園は16時30分まで)

休園日: 月曜、祝日の翌日、年末年始

交通: JR逗子駅または京急 逗子・葉山駅からバスで「一色海岸」下車すぐ

その他、どぶ板通り(横須賀市)や城ヶ島灯台(三浦市)など **20カ所のチェックポイントあり!**

## 第3期 ノシシ × 山ののんびり旅

～横浜・箱根・丹沢大山～

開催期間 令和8年1月9日(金) ▶ 2月22日(日)

＼謎解きクエストの一例／

**大山阿夫利神社 下社(伊勢原市)**

昭和2(1927)年に小田急線伊勢原駅開業と同時期に大山阿夫利神社への参詣の便を図るため、大山鋼索鉄道(現在の大山ケーブルカー)の建設が始まり、昭和6年に開通しました。

拝観時間: 平日9時～16時30分(土曜・日曜・祝日は17時まで)

交通: 大山ケーブルカー 阿夫利神社駅から徒歩3分

その他、鶴巻温泉(秦野市)や恩賜箱根公園(箱根町)など **20カ所のチェックポイントあり!**

賞品一覧

|         |                            |
|---------|----------------------------|
| S賞 1名様  | 葉山ホテル音羽ノ森(写真) 10万円分宿泊ギフト券  |
| A賞 10名様 | 天然本まぐろ特選詰め合わせギフト 5点セット     |
| B賞 29名様 | よこすか海軍カレービーフ 200g(1食入)×10個 |

※当選賞品は抽選のため選ばせません ※写真は一例です

スマートフォンを使用したイベント参加の際の注意事項

- × 歩きながらのスマートフォンの操作は非常に危険ですので絶対におやめください。
- × イベントを楽しむ際は、通行人の迷惑にならないようご注意ください。

# かながわ「昭和100年」

つながる心、ともに未来へ

昭和100年のイベント等について詳しくはこちら

## 旧吉田茂邸 特別庭園ガイド

昭和の名宰相 吉田茂  
その庭園の魅力を知る

事前申込不要

庭園設計者である中島健氏が、吉田茂の感性豊かな嗜好を取り入れて作り上げた風景などについて、ガイドがエピソードを交えて紹介します。

庭園を兜門から七賢堂(特別開扉開催予定)を巡り、最後に旧吉田茂邸から往時の吉田茂の視点で庭園を眺めることで昭和時代に設計された庭園の素晴らしさを体感できます。

旧吉田茂邸

兜門の前に立つ吉田茂  
写真: 大磯町郷土資料館所蔵

日程: 令和8年2月7日(土)・8日(日) 10時～15時 各回1時間・10名(1日5回)

場所: 県立大磯城山公園

料金: 大人600円、中・高校生300円、小学生以下無料

交通: JR大磯駅からバスで「城山公園前」下車徒歩3分

【上記記事に関する問合せ】

昭和100年のイベント等については県総合政策課 ☎045(210)3056 ㊟045(210)8819

旧吉田茂邸特別庭園ガイドについては同公園管理事務所 ☎0463(61)0355 ㊟0463(61)6935

## 法人の県民税・事業税の超過課税を延長します

県は、これまで法人の皆さんに法人県民税・事業税について超過課税という特別なご負担をお願いし、その時々行政課題に対応してきました。今後5年間もこの財源を有効に活用して、安全・安心の確保と経済の活性化を図っていきます。

延長後の適用期間 令和7年11月1日から令和12年10月31日までの間に終了する各事業年度分

上記期間の税收規模(見込み) 約 1,400億円

**経済対策の推進**

- 生産性向上への支援
- 人材確保への支援

**災害に強い県土づくりの推進**

- 「水防災戦略」に基づく河川の整備等の大規模水害対策
- 「地震防災戦略」に基づく大規模地震対策

**県内経済の持続的な発展に向けた幹線道路の整備**

- 災害時の物資輸送や経済活動の早期再開にかかる自動車専用道路の整備

【上記記事に関する問合せ】 超過課税の制度については県税制企画課 ☎045(210)2306 ㊟045(210)8806

超過課税の活用については県財政課 ☎045(210)2266 ㊟045(210)8805

活用例: 県道42号座架依橋(橋りょう耐震補強工事)

**事業効果** 橋りょう耐震対策実施状況(着手率)

令和2年度末時点 68%

令和5年度末時点 **86%**

事業効果について詳しくはこちら

vol.74 **ともいきバトン** 今月は、神奈川県災害派遣福祉チーム(神奈川DIWAT) チーム員の鈴木ようこさんに伺いました!

### 災害時に誰ひとり取り残さない福祉を目指して

神奈川DIWATは、災害時に高齢者や障がい者、子どもなどの配慮が必要な方々のニーズを伺い、避難生活における生活機能の低下防止を図りつつ、安定的な日常生活へ移行できるように福祉支援を行うチームです。令和6年能登半島地震では、石川県内において避難生活中の困りごとについての相談支援や環境調整を幅広く行いました。近年、わが国ではさまざまな災害が発生しており、次にどのような災害が起こるか分かりません。私たちDIWATは行政や多職種、多機関等と連携をしながら訓練を重ねてまいります。皆さんも「普段の備蓄」「ハザードマップや避難経路の確認」「個別避難計画の作成」など、日頃からの備えを、ぜひ進めてみてください。

このコラムでは、「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念に共感していただいている方々のメッセージをご紹介します。

【ともいきバトンに関する問合せ】 県共生推進本部 ☎045(210)4961 ㊟045(210)8854

（一社）神奈川県精神保健福祉士協会 鈴木ようこさん

神奈川DIWATについて詳しくはこちら

## ともに生きる

ともに生きる社会かながわ憲章

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

平成28年10月14日 神奈川県

憲章についてはこちら

## 「富士遠景」

写真：横浜市・渡邊 智さん

立石海岸からの朝焼けの富士山です。波打ち際の波を抑えて撮るため、シャッタースピードを長く設定して撮影しました。

- ▶ 場所：立石海岸（横須賀市）
- ▶ 撮影：令和6年12月

投稿写真募集中！  
詳しくはこちら



編集／発行（毎月1日発行）

〒231-8588 横浜市中区日本大通1

神奈川県 政策局 知事室

☎045(210)1111（代表）

☎045(210)3662 ㊚045(210)8834



県公式X(旧Twitter)  
@KanagawaPref\_PR

※記事は11月14日時点の内容であり、変更になる場合があります

# 感染症を予防しよう

感染症対策について詳しくはこちら



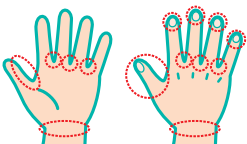
ノロウイルスについて詳しくはこちら



寒さが厳しくなり、空気が乾燥する冬は、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症、ノロウイルスなどの感染症が増加します。感染を広げないためには一人ひとりが感染経路を断つ取り組みが大切です。そのためには「**手洗い**」「**咳エチケット**」を心がけましょう。

## 正しい手洗い方法

🔴 は特に洗い残しが起こりやすい場所



1



流水で手を濡らし、せっけんをよく泡立て手のひらを洗う

2



手の甲を洗う

3



指先と爪の間を洗う

4



指をクロスさせて指の間を洗う

5



親指の付け根と手のひらをねじって洗う

6



手首も忘れずに洗い、十分に水で流す

## 咳エチケット

ひまつ飛沫による感染症対策に



### 正しい方法



マスクを着用する  
※鼻からあごまでを覆い、隙間がないようにつけましょう



ティッシュ・ハンカチなどで口や鼻を覆う



とっさの時は上着の内側や袖で覆う

### 悪い事例



咳やくしゃみを手で押さえる



何もせずに咳やくしゃみをする

※高齢者・基礎疾患がある方・妊婦の方は重症化リスクが高いため、発熱などの不調を感じたら、速やかに医療機関を受診してください

## かながわ救急相談センター

シャープ  
電話 **#7119**

24時間365日対応 県内全域対応

年末年始は受診できる医療機関が限られます。

救急車を呼ぶべきか、病院に行くべきかなどで迷った際は、**#7119**をご利用ください。

緊急時は迷わず「119」へご連絡ください。

※☎045(232)7119または☎045(523)7119でもご案内しています

※聴覚に障がいのある方は㊚045(242)3808へ

詳しくはこちら



## かながわ救急 パーソナルサポート

LINEからも利用できます。

友だち追加はこちら



【上記記事に関する問合せ】 感染症対策については県健康危機・感染症対策課 ☎045(285)0776 ㊚045(633)3770  
かながわ救急相談センター（#7119）については県医療整備・人材課 ☎045(210)4874 ㊚045(210)8858

# GREEN×EXPO 2027 開幕まで500日を切りました

GREEN×EXPO 2027のメインテーマ

「幸せを創る明日の風景」のもと、  
県は、みんなで盛り上げ、みんなで創り、みんなが参加する  
共創・参加型万博を目指して、準備を進めています。

## 2027年国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)

令和9年3月19日～9月26日  
旧上瀬谷通信施設(横浜市瀬谷区、旭区)



©Expo 2027  
公式マスコットキャラクター  
トウンクトゥンク

会場イメージ

【上記記事に関する問合せ】 県国際園芸博覧会推進室 ☎045(285)0373 ㊚045(210)8851

## 「花・緑ガイドボランティア」に参加しませんか！

募集人数 200人

活動内容 来場者に向けて、県出展エリアを含む会場内各所に設置された花壇の見どころ等を紹介する。

応募期限 12月22日(月)17時まで

募集要件 令和9年4月2日時点で満15歳以上の方  
(中学生を除く)  
8日以上活動していただける方

令和8年1月頃にも植物管理や運営のボランティアを募集予定です。



詳しくはこちら

## 日頃の活動を万博会場で発表しませんか！

お祭りや特産物などの地域の魅力発信や花育教室、活動発表等、県出展エリアを盛り上げる催事を募集します。

募集期間 12月1日(月)～令和8年1月30日(金)

募集対象 県内自治体や県内各地域で活動する団体等



詳しくはこちら